

組合員の作品



滋賀県高島市メタセコイヤ並木
2019年12月
サポートセンター 山川 清



ホームさつき1階のひな人形

短歌

立春の風に誘われ友は逝き孫さん達の弔辞に涙する

門真中央支部 兵頭 克己

菜の花にやさしく注ぐ春の雨河内街道の村静かなり

みい西支部 堀 正子

カルガモの一群れ日暮れの川面ゆく時には目当てを持たぬ一日

ゆつゆつ支部 長 勝昭

若いころ遅れを他者にこの頃は己自身にとる心地する

さつき西支部 木下 一



支部の皆様へ

支部総会、
総代選出への
対応について
お知らせ(抜粋)

2020年3月11日
けいはん医療生協
常任理事会

今回の新型コロナウイルス
イルス感染拡大に鑑み、今年
の支部総会開催に
関しては、次の方針
ですすめています。
ご確認ください。
○支部総会開催、総代
選出は予定通り、3
月1日〜4月13日の
間で進めてくださ
い。
○支部総会の成立要件
は従来、実参加のみ
を条件としてきまし
た。今年、「参加
したいが難しい」と
いう方にいただいた
書面議決書等を含め
た総参加数で、成立
の判断をしていただ
くこととします。

創立30周年を迎えるにあたって

《第3回》新みい診療所建設と長期計画(1994〜1996年)

みい診療所移転

けいはん医療生協発足3年。その間、国の低医療政策による医療情勢の厳しさ、組織基盤の弱さ、短期間に2つの診療所開設という外・内部環境(三重苦)の中、「京阪沿線に住民が主人公の開かれた医療組織を」の「ROMA」を役・職員と組合員が共有し事業・運動に取り組みました。

みんなの力で夢実現、はじめての長期計画

土地取得のメドがついた1995年9月臨時総代会を開催。はじめての長期計画(3議案)を決定。

あり、診療所移転を決定。可能な限り近隣ということ、30坪程離れた場所、すでに一戸建住宅用地として整地・区割りされていた土地(現みい診療所)を折衝していきま

組合員の願いと高齡者事業への挑戦

建設運動は、役・職員と組合員で「建設推進委員会」「施設検討委員会」を設置。委員会を中心に大阪の医療生協診療所見学、みい診療所利用委員会に寄せられたアンケートを基に施設構想を練っていきま



新みい診療所建設現場説明

- ① 「みんなの力で夢実現、新みい診療所建設」
- ② 「21世紀に虹をかける5カ年計画(1996〜2000年度)」
- ③ 組織強化大運動

長期計画スタートとなる96年4月には、組合員3000人(95年3月末2370人)で勢いをつけ、経営的にも開所以来の累積欠損(赤字)を解消。2001年3月末、組合員6千人(倍化目標)など掲げ、文字通り20世紀から21世紀に虹を

ける長期計画として、意欲高く挑戦しました。

1996年10月、新みい診療所が開所。待合室には「患者の権利章典」が掲げられ、当時ほとんど知られていなかった、デイケアが3階で始まり、その後の介護保険制度スタートにもなう、介護事業の土台づくりとなりました。

特別顧問 小寺 正